

外甲五六

明治三十三年八月 日

内閣書記官

直宗

内閣總理大臣

木

内閣書記官長

海

外務大臣

木

大藏大臣

海

文部大臣

海

内務大臣

海

陸軍大臣

海

司法大臣

海

農商務大臣

韓國併合ニ関スル條約公布ノ件

右閣議ニ供ス

上諭案

朕樞密顧問、諮詢ヲ經タル韓國併合ニ関スル
條約ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治四十三年八月五日

内閣總理大臣
外務大臣

條約第四號

臣等 韓國併合ニ關スル條約諮詢ノ命ヲ
恪ニ本月二十二日ヲ以テ審議ヲ盡シ之
ヲ可決セリ乃チ謹テ上奏シ更ニ
聖明ノ採擇ヲ仰ク

明治四十三年八月二十二日

樞密院議長公爵臣 山縣有朋

柳
密
院

條約第四號

日本國皇帝陛下及韓國皇帝陛下ハ兩國
間ノ特殊ニシテ親密ナル關係ヲ願ヒ相
互ノ幸福ヲ増進シ東洋ノ平和ヲ永久ニ
確保セムコトヲ欲シ此ノ目的ヲ達セム

力為ニハ韓國ヲ日本帝國ニ併合スルニ
如カサルコトヲ確信シ茲ニ兩國間ニ併
合條約ヲ締結スルコトニ決シ之カ為日
本國皇帝陛下ハ統監子爵寺内正毅ヲ韓
國皇帝陛下ハ内閣總理大臣李完用ヲ各

其ノ全權委員ニ任命セリ因テ右全權委
員ハ會同協議ノ上左ノ諸條ヲ協定セリ

第一條

韓國皇帝陛下ハ韓國全部ニ關スル一切
ノ統治權ヲ完全且永久ニ日本國皇帝陛下

下ニ讓與ス

第二條

日本國皇帝陛下ハ前條ニ掲ケタル讓與
ヲ受諾シ且全然韓國ヲ日本帝國ニ併合
スルコトヲ承諾ス

第三條

日本國皇帝陛下ハ韓國皇帝陛下、太皇帝
陛下、皇太子殿下竝其ノ后妃及後裔ヲシ
テ各其ノ地位ニ應シ相當ナル尊稱、威嚴
及名譽ヲ享有セシメ且之ヲ保持スルニ

十分ナル歳費ヲ供給スヘキコトヲ約ス

第四條

日本國皇帝陛下ハ前條以外ノ韓國皇族
及其ノ後裔ニ對シ各相當ノ名譽及待遇
ヲ享有セシメ且之ヲ維持スルニ必要ナ

ル資金ヲ供與スルコトヲ約ス

第五條

日本國皇帝陛下ハ勳功アル韓人ニシテ
特ニ表彰ヲ為スヲ適當ナリト認メタル
者ニ對シ榮爵ヲ授ケ且恩金ヲ與フヘシ

第六條

日本國政府ハ前記併合ノ結果トシテ全然韓國ノ施政ヲ擔任シ同地ニ施行スル法規ヲ遵守スル韓人ノ身體及財産ニ對シ十分ナル保護ヲ與ヘ且其ノ福利ノ増

進ヲ圖ルヘシ

第七條

日本國政府ハ誠意忠實ニ新制度ヲ尊重スル韓人ニシテ相當ノ資格アル者ヲ事情ノ許ス限リ韓國ニ於ケル帝國官吏ニ

登用スヘシ

第八條

本條約ハ日本國皇帝陛下及韓國皇帝陛下ノ裁可ヲ經タルモノニシテ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

右證據トシテ兩全權委員ハ本條約ニ記名調印スルモノナリ

明治四十三年八月二十二日

統監子爵寺内正毅

隆熙四年八月二十二日

編 密 院

内閣總理大臣李完用

樞密院

編者

樞密院

御覽 濟 外軍 五 六 内閣 八 御下 附

明治四十三年八月 二 内閣書記官

内閣總理大臣

大 手

内閣書記官長

大 手

外務大臣

心

大藏大臣

海軍大臣

文部大臣

遞信大臣

内務大臣

陸軍大臣

司法大臣

農商務大臣

農商務大臣

閣議

韓國併合ニ関スル條約案

右閣議ニ供ス

本件ハ樞密院、御諮詢相成ルニキモノト認ム

内

月

條約第

日本國皇帝陛下及韓國皇帝陛下ハ兩國
間、特殊ニシテ親密ナル關係ヲ顧ヒ相
互、幸福ヲ増進シ東洋ノ平和ヲ永久ニ
確保セムコトヲ欲シ此ノ目的ヲ達セム
カ為ニハ韓國ヲ日本帝國ニ併合スルニ
如カサルコトヲ確信シ茲ニ兩國間ニ併
合條約ヲ締結スルコトニ決シ之カ為日
本國皇帝陛下ハ統監子爵寺内正毅ヲ韓
國皇帝陛下ハ内閣總理大臣李完用ヲ各

其ノ全權委員ニ任命セリ因テ右全權委員ハ會同協議ノ上左ノ諸條ヲ協定セリ

第一條

韓國皇帝陛下ハ韓國全部ニ關スル一切ノ統治權ヲ完全且永久ニ日本國皇帝陛下ニ讓與ス

第二條

日本國皇帝陛下ハ前條ニ掲ケタル讓與ヲ受諾シ且全然韓國ヲ日本帝國ニ併合スルコトヲ承諾ス

第三條

日本國皇帝陛下ハ韓國皇帝陛下、太皇帝陛下、皇太子殿下迄其ノ后妃及後裔ヲシテ各其ノ地位ニ應シ相當ナル尊稱威嚴及名譽ヲ享有セシメ且之ヲ保持スルニ十分ナル歳費ヲ供給スヘキコトヲ約ス

第四條

日本國皇帝陛下ハ前條以外ノ韓國皇族及其ノ後裔ニ對シ各相當ノ名譽及待遇ヲ享有セシメ且之ヲ維持スルニ必要ナ

ル資金ヲ供與スルコトヲ約ス

第五條

日本國皇帝陛下ハ勲功アル韓人ニシテ特ニ表彰ヲ為スヲ適當ナリト認メタル者ニ對シ榮爵ヲ授ケ且恩金ヲ與フヘシ

第六條

日本國政府ハ前記併合ノ結果トシテ全然韓國ノ施政ヲ擔任シ同地ニ施行スル法規ヲ遵守スル韓人ノ身體及財産ニ對シ十分ナル保護ヲ與ヘ且其ノ福利ノ増

進ヲ圖ルヘシ

第七條

日本國政府ハ誠意忠實ニ新制度ヲ尊重スル韓人ニシテ相當ノ資格アル者ヲ事情ノ許ス限り韓國ニ於ケル帝國官吏ニ登用スヘシ

第八條

本條約ハ日本國皇帝陛下及韓國皇帝陛下ノ裁可ヲ經タルモノニシテ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

右證據トシテ兩全權委員ハ本條約ニ記
名調印スルモノナリ

明治四十三年 月 日

統監子爵寺内正毅

隆熙四年 月 日

内閣總理大臣李 完用

韓國保合條約案御裁可ノ義ニ
付別紙ノ通り上奏致度候間可
然御取計相成度此般申進候也

明治四十三年八月二十一日

外務大臣伯爵小村壽太郎



内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

甲五六

韓國併合ノ件ニ関シ統監子爵
寺内正毅ニ於テ韓國當局者ト
商議ノ末別紙ノ通リ併合條約
案議定致候ニ付調印前御裁
可相成候様仕度此段謹而奏ス

明治四十三年八月二十一日

外務大臣伯爵小村壽太郎



條約案

日本國皇帝陛下及韓國國皇帝陛下
下ハ兩國間ノ特殊ニシテ親密ナ
ル關係ヲ願ヒ相互ノ幸福ヲ増進
シ東洋ノ平和ヲ永久ニ確保セム
コトヲ欲シ此ノ目的ヲ達セム力為
ニハ韓國國ヲ日本帝國ニ併合スル
ニ如カサルコトヲ確信シ茲ニ兩國
間ニ併合條約ヲ締結スルコトニ決
シ之力為日本國皇帝陛下ハ統監

子爵寺内正毅ヲ韓國皇帝陛下ハ
内閣總理大臣李完用ヲ各其ノ全權
委員ニ任命セリ因テ右全權委員
ハ會同協議ノ上左ノ諸條ヲ協定
セリ

第一條

韓國皇帝陛下ハ韓國全部ニ関スル
一切ノ統治權ヲ完全且永久ニ日本
國皇帝陛下ニ讓與ス

第二條

日本國皇帝陛下ハ前條ニ掲ケタル
讓與ヲ受諾シ且全然韓國ヲ日本
帝國ニ併合スルコトヲ承諾ス

第三條

日本國皇帝陛下ハ韓國皇帝陛下、
大皇帝陛下、皇太子殿下並其ノ后
妃及後裔ヲシテ各其ノ地位ニ應ニ
相當ナル尊稱、威嚴及名譽ヲ享
有セシメ且之ヲ保持スルニ十分ナ
ル歳費ヲ供給スヘキコトヲ約ス

第四條

日本國皇帝陛下ハ前條以外ノ韓國皇族及其ノ後裔ニ對シ各相當ノ名譽及待遇ヲ享有セシメ且之ヲ維持スルニ必要ナル資金ヲ供與スルコトヲ約ス

第五條

日本國皇帝陛下ハ勲功アル韓人ニシテ特ニ表彰ヲ為スヲ適當ナリト認メタル者ニ對シ榮爵ヲ授

ケ且恩金ヲ與フヘシ

第六條

日本國政府ハ前記混合ノ結果トシテ全然韓國ノ施政ヲ擔任シ同地ニ施行スル法規ヲ遵守スル韓人ノ身體及財産ニ對シ十分ナル保護ヲ與ヘ且其ノ福利ノ増進ヲ圖ルヘシ

第七條

日本國政府ハ誠意忠實ニ新制度

ヲ尊重スル韓人ニシテ相當ノ資格アル者ヲ事情ノ許ス限リ韓國ニ於テ帝國官吏ニ登用スヘシ

第八條

本條約ハ日本國皇帝陛下及韓國皇帝陛下ノ裁可ヲ經タルモノニシテ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス右證據トシテ兩全權委實ハ本條約ニ記名調印スルモノナリ

明治四十三年 月 日

統監子爵寺内正毅

隆熙四年 月 日

内閣總理大臣李完用

このコマには 図面
表等がありますから下
記の原本をみてください。

請求番号

2A-11(類)1095